

日本消防会館の改築について

日本消防協会

現在の日本消防会館は、建築後35年を経て、各所で補修を要する状況となっており、いずれ遠からず改築などの抜本的な対処が必要となっています。

また、会館が所在する虎ノ門地区では再開発の動きがきわめて活発となっています。当協会としても再開発に参加することを検討しましたが、取得することができる床面積が現状より大幅に減少するほか、消防関係者にとっては何ものにも代えることのできない消防殉職者慰霊碑の存置について明確な展望を持つことが困難と思われることなどから、最終的に、単独で改築する道を選択せざるを得ないこととなりました。

現在の会館は、全国の消防関係者の中核的な集結拠点であり、「心の拠り所」ともいわれる重要な存在となっています。改築に当たっては、この歴史的な意義、伝統を一段と充実させるとともに、日本消防全体のこれまでの歴史、火災や様々な自然災害等の際に実施した活動、今後の消防防災の発展方向などに関する幅広い情報を国内外に発信し、さらに、消防関係者はもとより、一般国民の皆さんまで含む教育研修拠点とするなど、文字通り、日本消防の中核拠点としての実を挙げ、これが単に消防関係者の施設であるにとどまらず、国民の皆さんの一層の安全向上に貢献するものであり、皆さんにとっても身近な施設にしなければならないと考えています。このような考え方のもとに具体的な建築内容については、周辺の再開発や都市計画関係の動きを見ながら検討いたしております。

また、新たな会館の建設には、多額の経費を要しますので、当協会としても財源捻出のための内部的な努力を徹底するほか、全国の消防関係者にもご協力を頂くこととしています。

日本消防会館の改築には多くの課題がございますが、この会館が我が国消防防災の一層の充実発展に寄与するものであることにご着目頂き、円滑な改築実現に向け、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。